

住 ま い の
テクノロジー
ガ イ ド

Create my house in a dream scenario



セナリオハウス

注文住宅 分譲住宅 リフォーム

ライフスタイルに合わせた暮らしやすさと

大切な家族を地震から守る安全性。

高い品質基準が「安心して暮らせる家」を実現する

セナリオハウスの住まいのテクノロジー。





住友ゴム工業(株) MIRAIE(ミライエ) 性能検証実験 / 実大振動台実験の様子

いちばん大切な家族を守るための家、 「制震」＋「耐震」で安心と安全を備える

政府地震調査委員会では、今後30年以内に大地震が発生する確率は南関東直下型地震が70%と公表しています。30年以内というのは、30年後というのではなく、明日起きても不思議ではないのです。突然起こる地震から家族を守るためには、住まいの耐震性を高め、地震に負けない(倒れない)強い家にする必要があります。万一の際、丈夫な骨組みによって建物を強硬に支える耐震構造と制振ダンパーによる地震エネルギーの吸収・抑制機能をセナリオハウスでは標準採用※1しています。

※1 ミライエ搭載は一部の商品に限ります。

地震の揺れを制する技術で家を守る

住宅用制振ダンパー 「MIRAIE（ミライエ）」を標準採用※1

地震のエネルギーを吸収し、建物の揺れを抑えることで、倒壊や損傷から家を守る制振ダンパー。揺れ始めの微震動から大きな揺れまで、本震に続く余震の揺れに幅広く対応します。住まいの耐震性を損なうことなく、くり返し来る地震に効果を発揮します。

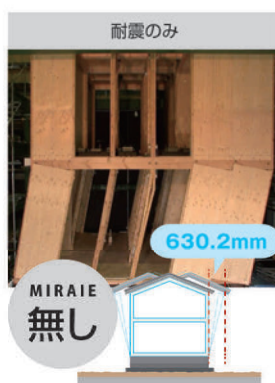


住宅用制震ユニットMIRAIEは
キッズデザイン賞を受賞しました。

実大振動台実験で実証された制震効果。震度7の加振に対して揺れ幅を最大95%低減※2

実大振動台実験結果 (2017年京都大学防災研究所)

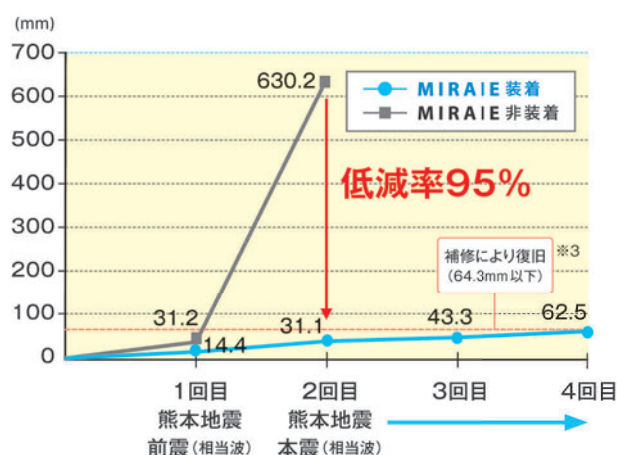
耐震等級3相当の木造建築物に対して、熊本地方で大きな被害を出した熊本地震の前震級と本震級の地震波を入力。さらに震度7の本震級の地震波をくり返し入力し MIRAIE 装着と非装着で、建物の上下階の揺れ幅（層間変位）を測定。この結果、地震の揺れ幅を最大95%低減できることが実証されました。



【実験概要】
実験名：木造住宅2F建てモデルによる振動台実験
建物：木造軸組工法1F部分（制振ダンパー有・無し）

建物形状：5.46m×3.64m
建物重量 70.56 k N/ 実施年月 2017年1月

※2：2017年京都大学防災研究所での実大振動台実験。加振2回目（前震級+本震級）の結果による。※3：日本建築防災協会の資料による（1/45 rad）

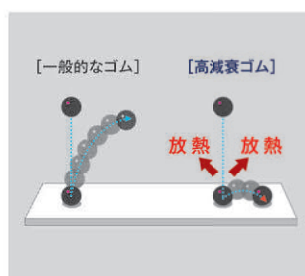


90年間※4制震特性は、ほとんど変わりません

長期間に渡りメンテナンスは不要なので暮らしの負担にならない優れた経済性。お子さま、お孫様の代まで安心が続きます。

揺れを熱に変えて吸収する「高減衰ゴム」。 長期に渡り地震に備えます

エネルギー吸収材に使われる「高減衰ゴム」は、ほとんど弾みません。これは運動エネルギーを熱に変えて吸収・発散するためです。90年間※4メンテナンス不要なので、手間もかからず、エネルギー吸収材に最適な素材です。



※4：促進劣化試験の結果による（高減衰ゴムダンパー部分において）。

高層ビルや橋の制震ダンパーに使われる技術を 住宅に転用した MIRAIE。

「高減衰ゴム」は、高層ビルや橋の制震ダンパーに使われています。使用範囲は-20℃から60℃まで適応し、季節や場所により気候の異なる野外でも多数使用される信頼性の高い素材です。



カタログをご請求いただくと
郵送でお手元にお届けいたします。



[「住まいのテクノロジーガイド」を取りよせる >](#)